

習が不十分であるかを診断でき、自分の学習活動を調整することができる。

イ. 生徒は形式的テストによって、自分の誤った個所をチェックすることにより、その学習単元の目標が達成されなかったのは、どの学習課題ができなかったためなのか自分の弱点を知ることができる。

ウ. 学習単元を習得した生徒、あるいはほぼ習得した生徒にとっては、形式的評価の結果は、効果的な内的報酬、あるいは強化になる。

② 教師側から

ア. 教師は形式的テストで、クラスの大多数の生徒が誤答したところは、教材や指導法に難点があったものとして、修正すべき情報が得られる。クラスの少数によってなされた誤答は、個々の生徒によって正されるべきである。このような判断をなすことが可能となるフィードバックの情報を大切にしたい。

イ. 毎年このような形で形式的評価を行っていれば、その累積された資料から、現在のク

ラスが以前のクラスと比べてどうであるか判断する指標を得ることができる。

ウ. 総括的評価成績の予測ができる。

以上①, ②のように、形式的評価は、教師と生徒がともに必要としているフィードバック情報を準備してくれる。それが、授業改善のために大いに役立てられるわけである。

4. 教材の目標分析と授業の展開例

(1) 単元教材の目標分析例

単元教材の分析にあたって、内容的要素をふまえながら目標を分析し、それぞれの到達目標を設定した。なお、知識・理解を認知、関心・態度を情意、言語活動を技能として示した。

(2) 形式的評価を取り入れた授業展開例

学習活動——評価——学習活動というフィードバック・サイクルからすれば、学期、単元、一時限の授業といった三つのレベルにおける形式的評価の方法が考えられるが、ここでは、一時限レベルでの例を考えてみた。

(1) 単元教材の目標分析 (Les.6 CITY PLANNING 「OUR ENGLISH 1」)

内容的要素	到達目標	知識・理解(認知)	関心・態度(情意)
1. 発音 音読	(1) 語が正しく発音できる。 (2) 全文が正しく読める。	traffic, problem, narrow, especially, crowded, usual, should, president, world, Washington, D. C. capital, the United States of America, Paris George Washington, Thomas Jefferson Major L'Enfant, believe, army European, the Revolutionary War, remain, architect, designer, quickly, widely, August, far-sighted, avenue, although, population, imagine	○都市が直面している交通事情のきびしさや、アメリカの首都, Washington, D. Cの建設にあたってのいきさつや現在の状態をとおして、今後への示唆を感じとらせる。
2. 語い (単語・連語 など)	(1) 基本単語がわかり正しく書いて用いることができる。	contain, million, future, consider, necessary, pollution, ignore,	○英語を聞いたり、話したり、読んだり、書いたりすることに興味をもち、進んで授業に参加している。
	(2) 動詞の活用が正しくできる。	begin-began-begun, do-did-done, build-built -built, send-sent-sent, spread-spread-spread, leave-left-left know-knew-known	
	(3) 連語の意味がわかり正しく用いることができる。	walk to, be jammed up, be in time for, name~after, become well-known a great deal, be to be ~, even though, for instance, be able to, in good health, in the future	
3. 内容把握	(1) Lesson 全体の要約を自分のことばで述べるができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 都市が現在、交通事情のきびしさに直面していること。</li> <li>• Washington, D. C がアメリカ初代大統領George Washingtonの名にち</li> </ul>	○英語に対して、興味・関心をもち、授業中・業間・放課後